



牛ロタウイルス病による下痢に注意！

平成30年10月下旬、管内の1酪農場において牛ロタウイルスによる集団下痢が発生しました。季節の変わり目は寒暖差のストレスによる下痢等が発生することがあります。発生・拡大を予防するため、防疫対策を徹底しましょう。

牛ロタウイルス病とは

子牛や成牛の消化器系に異常を示す伝染病で、下痢や脱水を主徴とする。A・B・Cの3群がある。

原因と感染経路

牛ロタウイルスが下痢便や下痢便に汚染された稲わら等を介して経口的に感染

主な症状

〈子牛〉

突然の激しい水様下痢、黄色・淡黄緑色・乳黄色下痢便、脱水、ときに発熱

〈成牛〉

搾乳牛が一斉に泥状～水様下痢、泌乳量減少、脱水

防疫対策の再徹底により予防しましょう！

- ☑ **飼育衛生管理基準の遵守の徹底**
- ☑ 関係者以外の**立入制限**
- ☑ 長ぐつ、車両（タイヤ周り）の**消毒徹底**
- ☑ 飼育牛の毎日の健康観察による異常牛の**早期発見・早期通報**

対処が遅れると近隣農家へ感染が拡大する恐れがあります。異常を感じたらすぐにむつ家畜保健衛生所まで連絡してください。

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所
むつ地区家畜衛生推進協議会

〒035-0072 むつ市金谷2丁目 18-25

電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259

夜間・休日の連絡先 090-5841-6810